



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2025年2月 通巻 422号

今月のテーマ 断食



会長	澁谷弘祐	クラブ会長主題	「親睦を通して、互いを知ろう」
副会長	岡部八千代	国際会長	A・シヤナヴァスカーン (インド) 「より良い世界のために、共に」
	小林勉	アジア太平洋会長	ジョウン・ウォン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」
書記	大澤和子	東日本区理事	山田公平 (宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」
会計	金本伸二郎	関東東部部長	山本剛史郎 (川越) 「我々は微力かもしれないが、無力ではな

今月の聖句

「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」

コリントの信徒への手紙 — 12章 26節

2月例会

日時：2月2日（日）18:00～20:00

場所：YMCA 所沢センター2F

- | | | |
|-----|-------------|-------|
| 第1部 | 司会 | 小林 勉 |
| 1 | 開会点鐘 | 澁谷弘祐 |
| 2 | ワイズソング | |
| 3 | ワイズの信条 | |
| 4 | 聖書・祈り | 金本伸二郎 |
| 5 | 来賓紹介 | |
| 6 | 入会式 | 柿原正義 |
| 7 | インドのワイズ事情 | |
| | ヴァンカティッシュ夫妻 | |
| 8 | YMCA 報告 | 新井隼斗 |
| 9 | ワイズ報告 | 澁谷弘祐 |
| 10 | 誕生・結婚記念 | |
| 11 | 閉会点鐘 | 澁谷弘祐 |

第2部 司会 大澤和子
 歓迎会
 会費 1000円

アウシュビッツを訪問して 小林 恵子

昨年秋、かねてより一度は訪ねてみたいと思っていたアウシュビッツ強制収容所に夫と娘と3人で訪問しました。ケルン、ベルリンを回って最後の訪問地です。夜と霧を書いたフランクル、アンネの日記のアンネが収容されていたアウシュビッツ。戦争の負の遺産として残されている場所をこの目で見ておきたいと思っていました。

収容所の外観は煉瓦造りの宿舎が整然と並び、街路樹が建物を囲みおだやかに時が流れているそんな感じの収容所にみえました。ガイドの方の説明によると、並木やレンガ造りの建物は外部からのカモフラージュだということです。



この収容所は何のために建てられたのか？アウシュビッツの正門に伸びる一本のレール、ここにヨーロッパ中から集められたユダヤ人、政治犯などが貨車に乗せられ連れてこられました。子供や女性たちは、労働に適さないと判断されると身ぐるみ剥がされてガス室に送られる。健康な男性は劣悪な環境で労働力として使われる。ドイツで製造する新薬のための人体実験用の要

員。アウシュビッツはユダヤ人殲滅の目的で創られました。

現在収容所の展示館では、おびただしい髪の毛【髪の毛は布を織るために使われます】。没収された靴やカバンが大きなラケースに展示されています。

アンネフランクが収容されていた部屋、使用していた囲いのないトイレなども風化されるがまま残されています。身代わりとなって処刑された日本では有名なコルベ神父が収容されていた宿舎、四畳半ほどの地下室に20人ほどが詰め込まれ、真冬は-20度になる場所なのに十分な暖房も与えられない環境だったそうです。

余りにも残虐で非人道的な所業がドイツ国民の総意としてなぜ実行されたのか？

今、世界の各地で戦争や内乱が起きています。

戦争は決して起こしてはいけなないと心から思います。今更ですか？といわれるかもしれませんが、悲しいかな戦争のない日本で暮らしているとどうしても対岸の火事感覚になってしまいます。

「夜と霧」を書いたフランクは生還して後に、過去でも未来でもなく今を生きる大切さを述べています。今自分にできることは何か？を考える旅になりました。

1月例会報告

宮地 輝子

参加者：(敬称略)

大澤・太田・金本・上山・渋谷弘祐・実季・すみれくん・宮地



1月11日 令和7年の新年会が、ふらっとJOYで開催されました。参加者は新年でもあり、少なかったのですが、土曜日にもかかわらず、太田主事さんも参加、普段は忙しい金本さん、上山さんも参加しました。

例会は粛々と手際よく進め、今月の誕生日の金本さんを祝って歌いました。欲しいと思っていたYMCAの名入りのペンをプレゼントされ、金本さんは目を細めて喜んでいました。

皆さん持ち寄りのご馳走は赤飯・から揚げ・シューマイ・お煮しめ・ハルマキ・肉巻き・お雑煮・リンゴのコンポート・アイスクリームなど、いただきながらそれぞれ、今年目標を言いました。

太田聡主事は「今年の巳年は60年に一度しか来ない大きな変化のある年なので、前向きに笑顔で元気に過ごしたい」と言われました。

渋谷会長は「これまで、お世話になった方たちが、だんだんいなくなってしまうので、自分の付いていきたい人、師匠を見つけたい」と言われました。

上山さんは「仕事の量がふえて、かなり限界にきている。予定の6割しかこなせていない。障害の方の相談員もやっていて、相談を受けたのにそのままにできない、フードバンクも定例会がある。ワイズは私が主体ではないけど、大澤さんには恩があり、小関先生は大学の先輩で、断れなかった。人から頼りにされている限り、やっぴいかねばならないので頑張りたい」と言われました。

金本さんは「検査で心臓にチェックが入り、検査したが、症状として感じてない。70代は生き生きと生きなければならない。80代、90代のためにも」と言われました。

渋谷実季さんは「変化があるので、1歩ずつゆっくりマイペースで行きたい。」と言われました。

すみれ君はママが言いました。「4月からは幼稚園に行く。お勉強たっぷりの幼稚園でバスに乗っていく」と言われました。

宮地は「いつも、その日のことに追われて、ここまで来たが、もうこの年齢なので、片づけをしなければならない。今年は少しでも片づけを進めたい。」と言いました。

大澤さんは「朝は体操に行く、夜はプールに行く。ストレッチポールをする。英語のスタディアブリを毎日1課ずつする。これが、私の今年目標です」と言われました。

来年の役決めもして、1月末までには出さなければならないと、話題になったけれど、大澤さんは来年東日本区の会員増強主査になっているとのこと、はっきりは決まりませんでした。

楽しく話が尽きず、ご馳走もたっぷり、最後はお雑煮をいただき、また、デザートアイス、コーヒ

一もあり、和気あいあいとした楽しく、有意義な新年例会でした。

ワイズ報告&今後の予定 大澤 和子

2月2日(日) 18:00 例会 於 所沢センター
卓話ベンカテッシュさん
柿原正義さん入会式

2月3日(月) ベンカテッシュ夫妻東京見物(はとバス) アテンドは小林恵子。大澤

2月4日(火) ベンカテッシュ夫妻、秩父見学。アテンド澁谷夫妻、岡部八千代

ベンカテッシュ氏は現在 iGo 国際事業主任をされており、南西インド区元理事です。奥さんも YMC Quilon West クラブの元会長をしておりました。ワイズメンズクラブ東日本区のホームページにベンカテッシュ氏の記事があります。

「国際会長ニュース 2024-2025 11月号」(下記の URL) ご覧ください。

<https://ys-east.or.jp/news/4891#gsc.tab=0>

2月15日 後期区費及び後期部費納期
半年分 18000 円を振り込んでください。

◎郵便局からの送金の場合は 送付先 ゆうちょ銀行
記号 10360 番号 68683481 口座名 トコロザワ
イズメンズクラブ

◎ゆうちょ銀行以外からのお振込の場合は 店番
038 種別普通 番号 6868348 口座名 トコロザワ
イズメンズクラブ

3月号

ブリテン1面 小林茂和 例会報告 上山武夫

YMCA 報告(本部事務局長) 太田 聡

2025年早くも1ヶ月が過ぎました。2024年は災害や紛争の話ばかりでしたが、少しでも平安な日を祈るばかりです。YMCAは今の時代にあって何をすべきか、何を求められているのかを考えます。ご存知の方もいるかもしれませんが、トランプ大統領の就任にあたって、あのYMCAの曲が流されていることに、世界YMCA同盟総主事がメッセージを出し、日本YMCA同盟も賛同するとHPにアップされました。すでに読まれた方もいるかもしれませんが、全文をここに載せます。

ヴィレッジ・ピープルの歌「Y.M.C.A.」が政治的イベントで使用されることについて世界YMCA同盟総主事は1月19日、自身のSNSで下記のコメントを発表しました。日本YMCA同盟もこれに賛同し、和訳とともに共有します。

【世界YMCA同盟カルロス・サンビー総主事メッセージ(和訳)】

世界中のYMCAから、ヴィレッジ・ピープルの1970年代の代表曲「Y.M.C.A.」が党派的・政治的な大規模なイベントで使用されていることについて、私たちYMCAの名前が政治的大義と結びつけられているのではないかと心配する問合せがありました。

もちろん、(団体としての)YMCAにはこの曲に関する権利はありません。たとえ何百万人もの人々が私たちYMCAのことを連想したとしても、私たちは誰が何のためにこの曲を使用するのかについて、何の関係もありません。世界100カ国以上、10,000以上のコミュニティにおいて、私たちは「小さな政治(=身近な地域社会での生活)」を大切にしていますが、YMCAは政治的な団体ではありません。

この歌そのものは、多様性、連帯、喜びを讃える歌とみなされることが多く、そのことが、人々がこの歌を選ぶ理由かもしれませんし、そうではないかもしれません。その価値観を意識的に受け入れているかどうかにかかわらず、多くの人々がこの歌に親しみ、楽しんでます。しかしYMCAという団体は、あのディスコの名曲から連想されるどのようなこととも関係なく、歌以上の存在なのです。

私たちYMCAのビジョンは、すべての人が自己と、社会と、そしてあらゆる生命と調和して生きる世界にあります。私たちYMCAの使命は、世界中の若者と地域社会に力を与え、すべての人が身体、精神、知性において成長できる、持続可能で、公平で、包摂的で正義ある世界を築くことにあります。

私たちは、いずれの政治指導者のためにあるものではありません。別な一人の指導者であるマハトマ・ガンジーの言葉を借りるならば、私たちは、若者と地域社会が、自分たちの望む変化を起こし、またそれを導くよう支援するためにあるのです。

私たちは、より良い世界のために祈り、そのために働きます。 *()内は訳者注

1月例会

所沢クラブ5名 メネット1名 コメント1名